







No. 038



昨日8月19日をもって夏季輸送期間が終了しました。JR東日本はお盆期間中の利用状況(8/9~8/18)について公表、下表の通り、対前年を上回る利用状況となっています。地球沸騰化を彷彿とさせるような連日続いた酷暑やゲリラ豪雨・雷雨に加え、山形・秋田を襲った記録的豪雨災害、台風被害など激甚災害、また南海トラフ地震臨時情報が発表された中でも、現場第一線の奮闘あってこそ夏季輸送を安全に乗り越えてこられたのだと言えます。みどりの窓口問題、京葉線ダイヤ改正問題など厳しい視線に晒される中ではありますが、引き続き安全第一で臨んでいきましょう!

幹・在利用状況	今年	前年	対前年比
下山	222.4万人	214.3万人	104%
上山	222.4万人	208.4万人	107%
計	444.9万人	422.8万人	105%

一方で相次ぐ退避遅延や中央総武線パンタグラフ損傷事象など 注意を要する事象が発生していることも現実です。いま一度仲間 同士、職場内での対話を通じた安全議論を大切にして、私たちの手 で利用者に信頼される鉄道の創造と働きがいの感じられる職場と 健全な企業風土を構築していきましょう!